

動画に文字を入れる

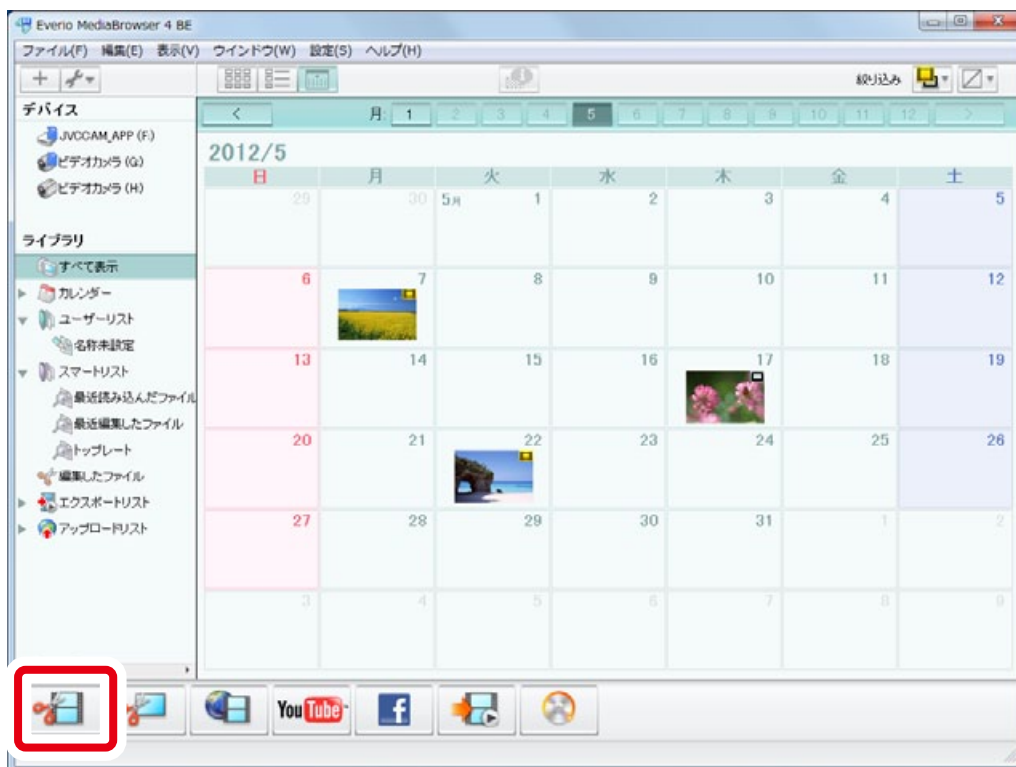
はじめに

- 本書では動画に文字を追加する方法を説明しています。
- ビデオカメラで撮影したファイルをあらかじめパソコンに取り込んでおいてください。
- 編集後は新たにファイルが書き出され、元のファイルはそのまま残ります。

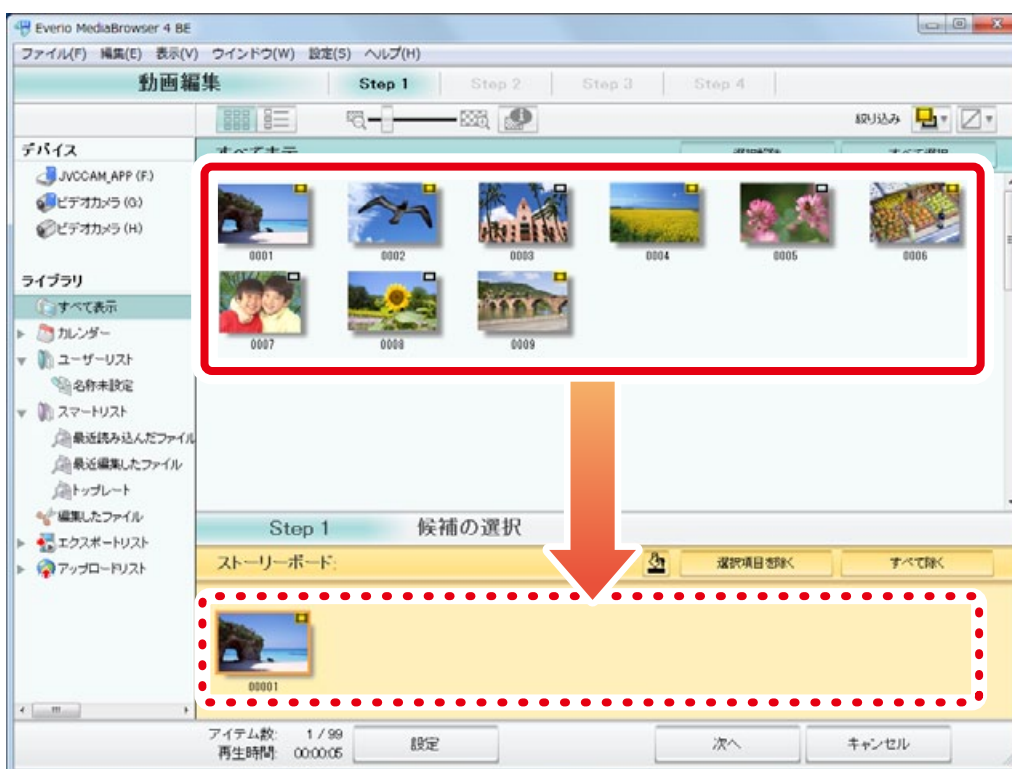
操作手順


1 Everio MediaBrowser 4 を起動します。

2  をクリックします。

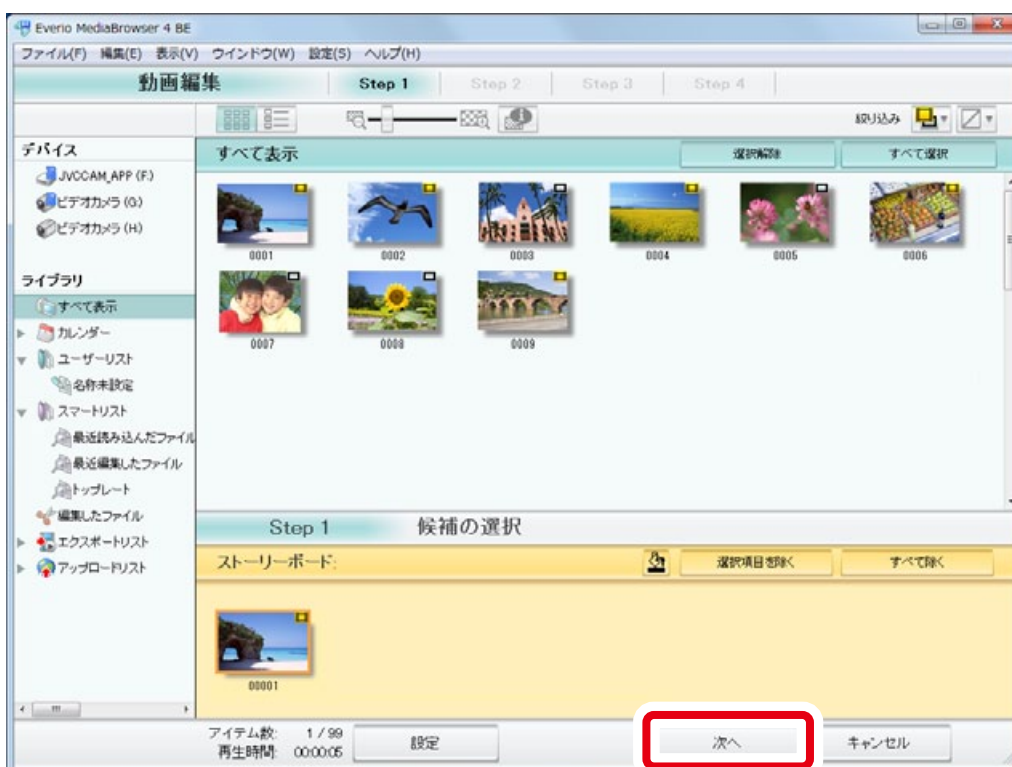


3 対象のファイルを、画面内 の領域にドラッグ&ドロップします。

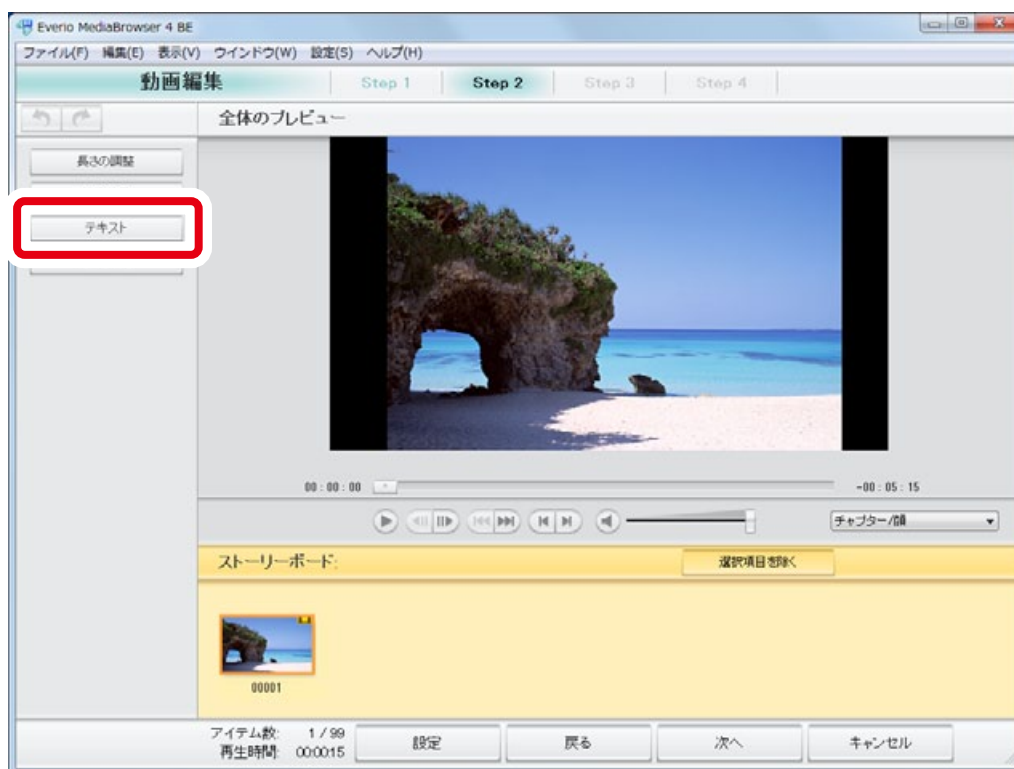


* 違うファイルをドラッグ&ドロップした場合は、画面内  の領域でファイルをクリックしてから、**選択項目を除く** をクリックしてください。

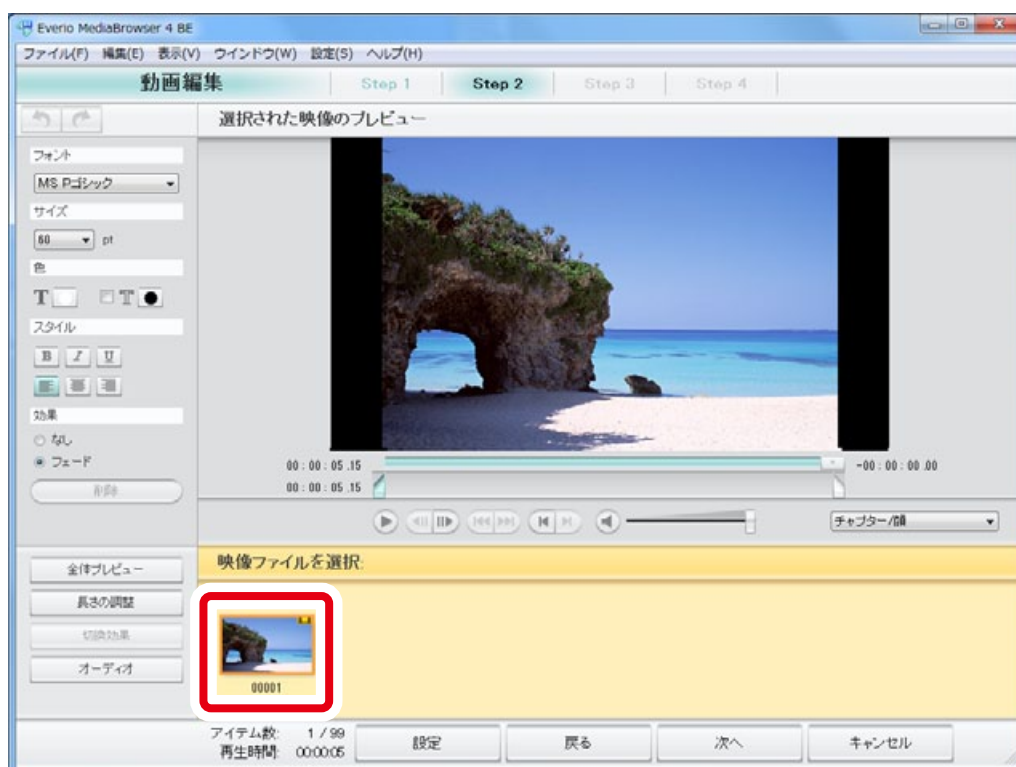
4 [次へ]をクリックします。



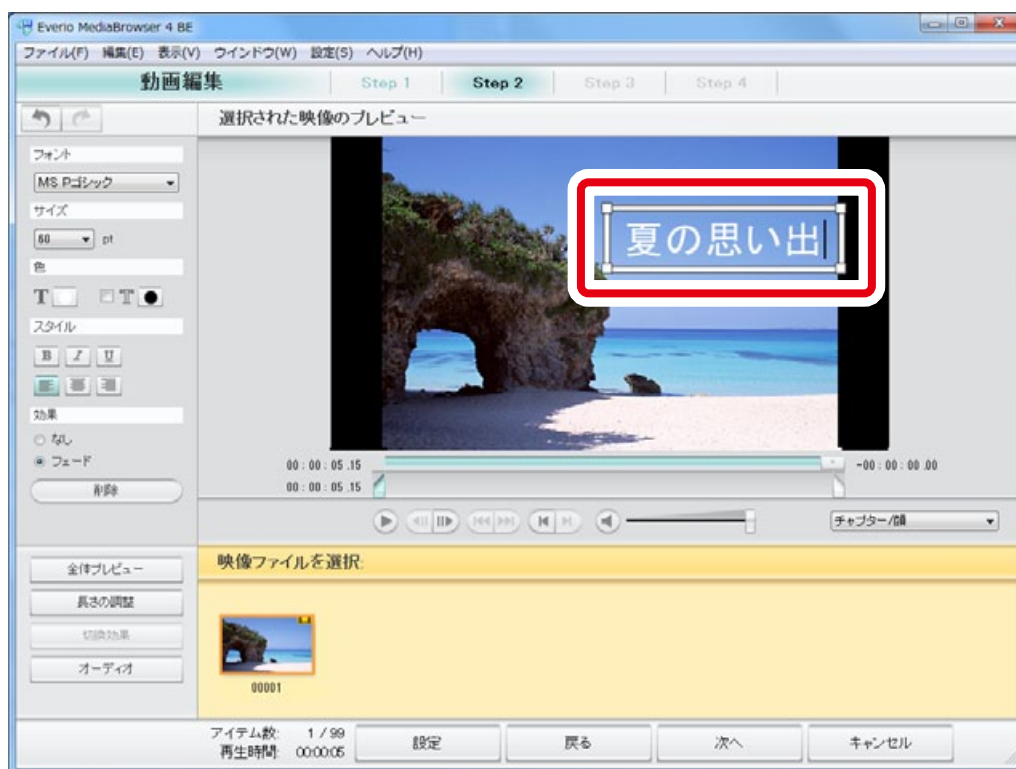
5 [テキスト]をクリックします。



6 文字を入れるファイルをクリックします。



7 配置したい場所をクリックして、文字を入力します。

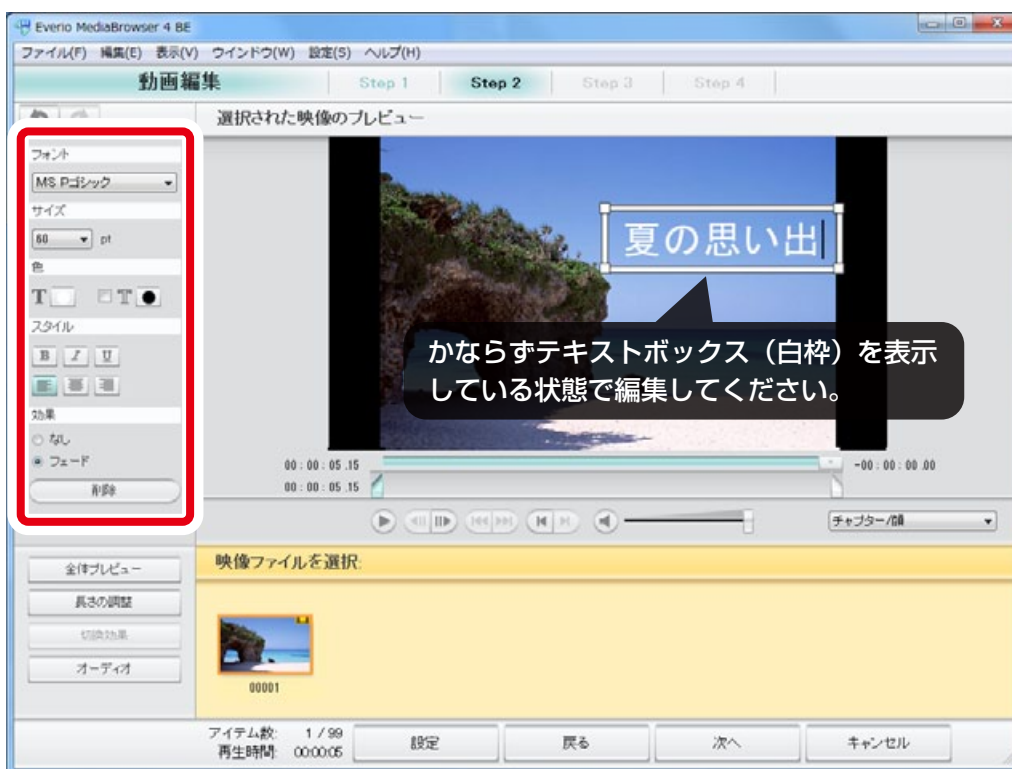


文字を入力するとテキストボックス（白枠）が表示されます。文字を編集するときには、かならずテキストボックスを表示している状態で行ってください。

* 表示が消えたときは、再度文字をクリックしてください。

次のページ ➡

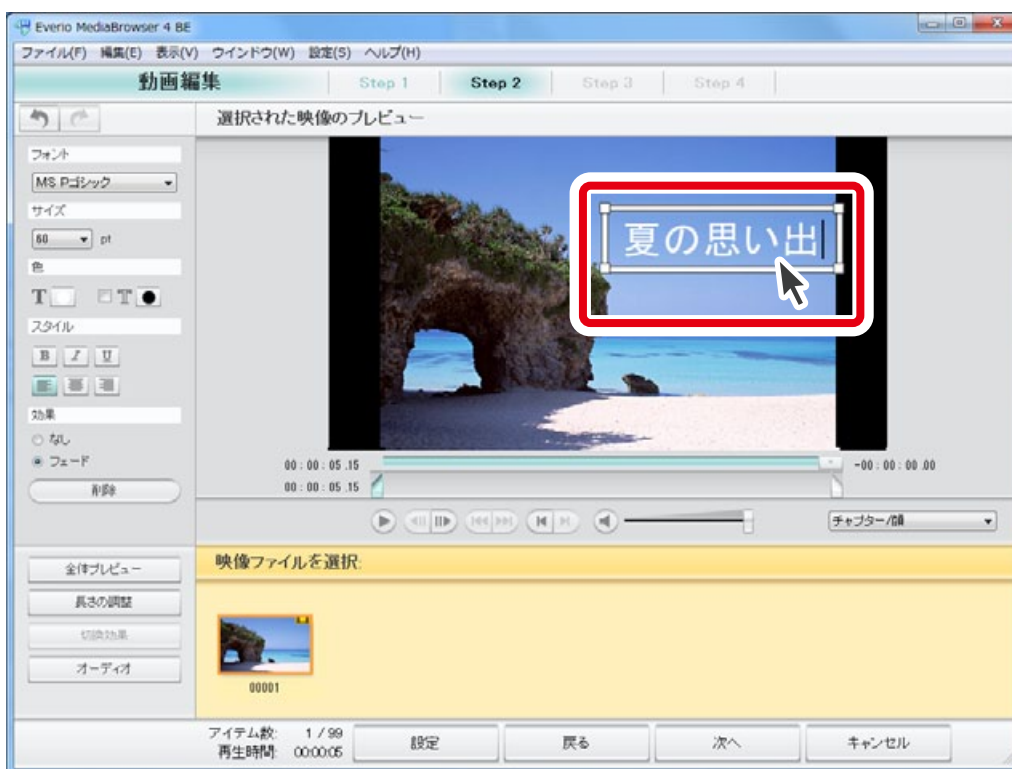
8 文字の編集をします。



設定項目	内容
フォント	文字の種類を選びます。
サイズ	文字のサイズを選びます。
色	T : 文字の色を選びます。右側の <input type="radio"/> をクリックして色の設定パネルから選びます。
	T : 文字を縁取ります。チェックを入れてから右側の <input checked="" type="radio"/> をクリックして色の設定パネルから選びます。
スタイル	文字のスタイルを変更します。もう一度クリックすると解除されます。 B : 太字 I : 斜体 U : 下線
	文字の配置を変更します。 ≡ : 左揃え ≡ : 中央揃え ≡ : 右揃え
テキストの効果	フェード効果を追加します。
削除	テキストボックスを削除します。


次のページ ➡

9 文字の位置や向きを調整します。



テキストボックスの辺の上で  が表示されているときにドラッグ & ドロップすると、文字の位置を移動できます。



テキストボックスの角で  が表示されているときにドラッグ & ドロップすると文字サイズを変更できます。



テキストボックスの角の付近で  が表示されているときにドラッグ & ドロップすると文字を回転します。



次のページ ➡

10 文字の表示時間を設定します。

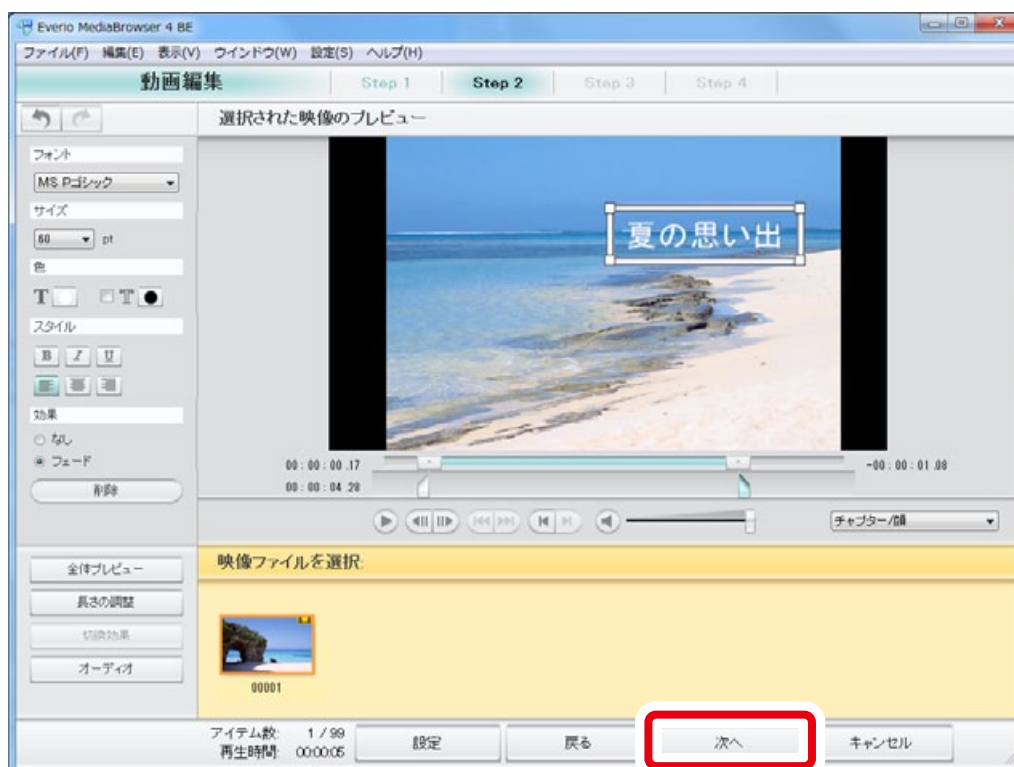
プレビュー画面を見ながら文字を表示する開始位置と終了位置を選びます。



青色のバーで表示されている場面で文字が表示されます。

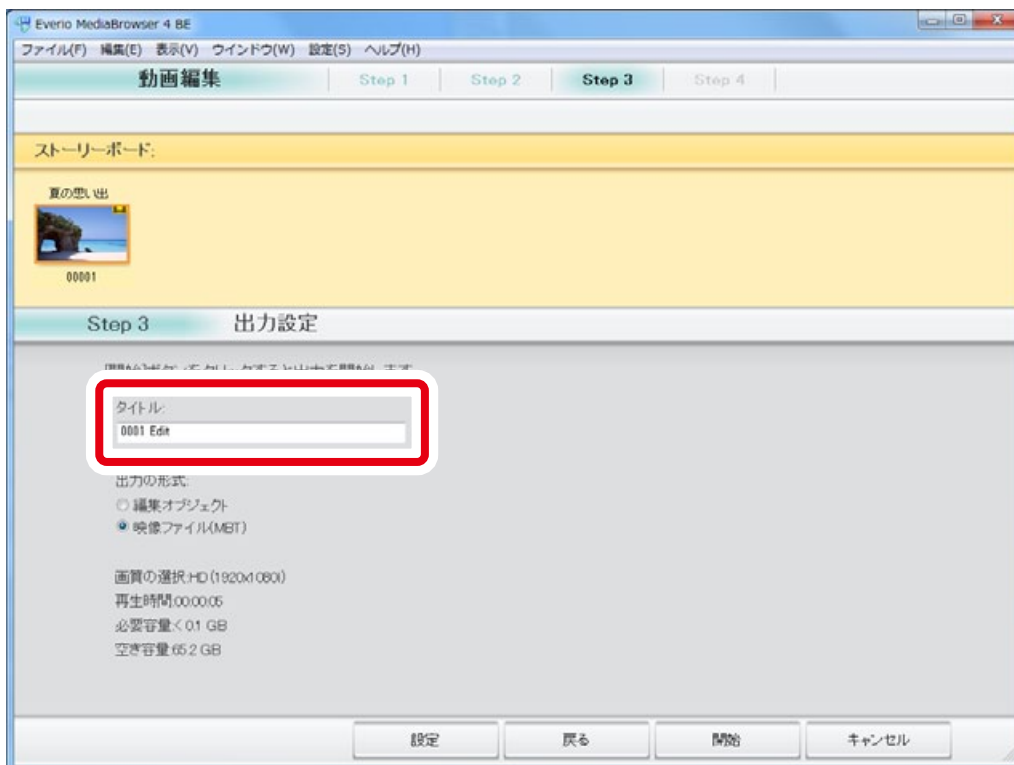


11 [次へ]をクリックします。

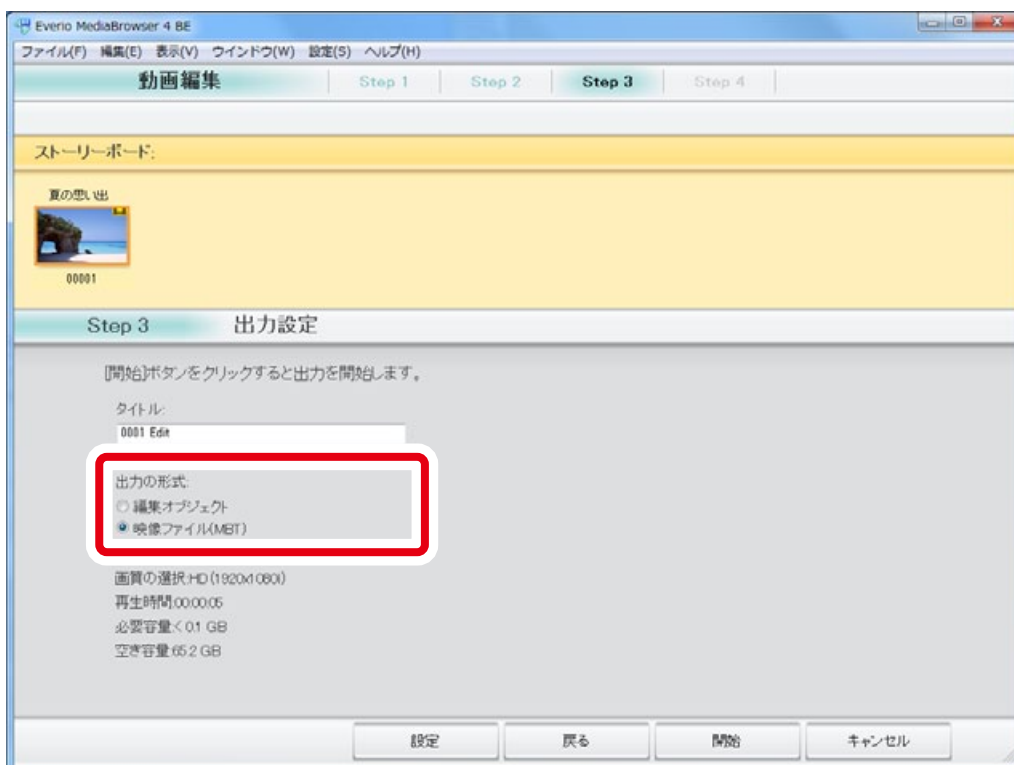


12 タイトルを入力します。

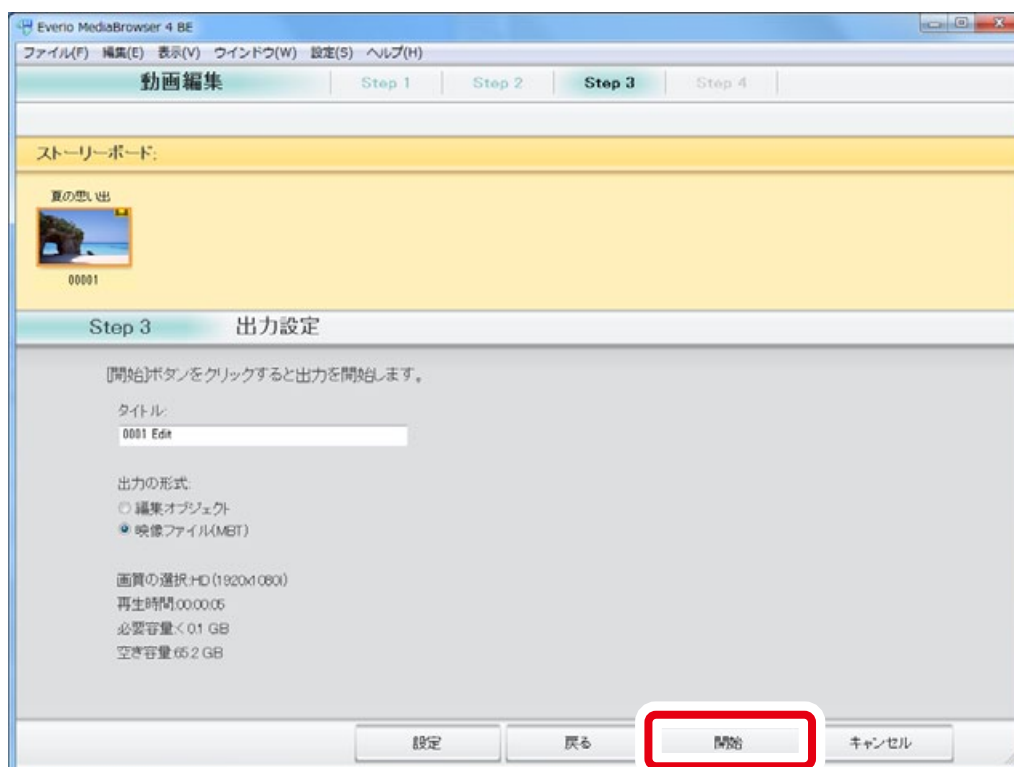
ここで入力したタイトルが、編集したファイルのタイトルになります。



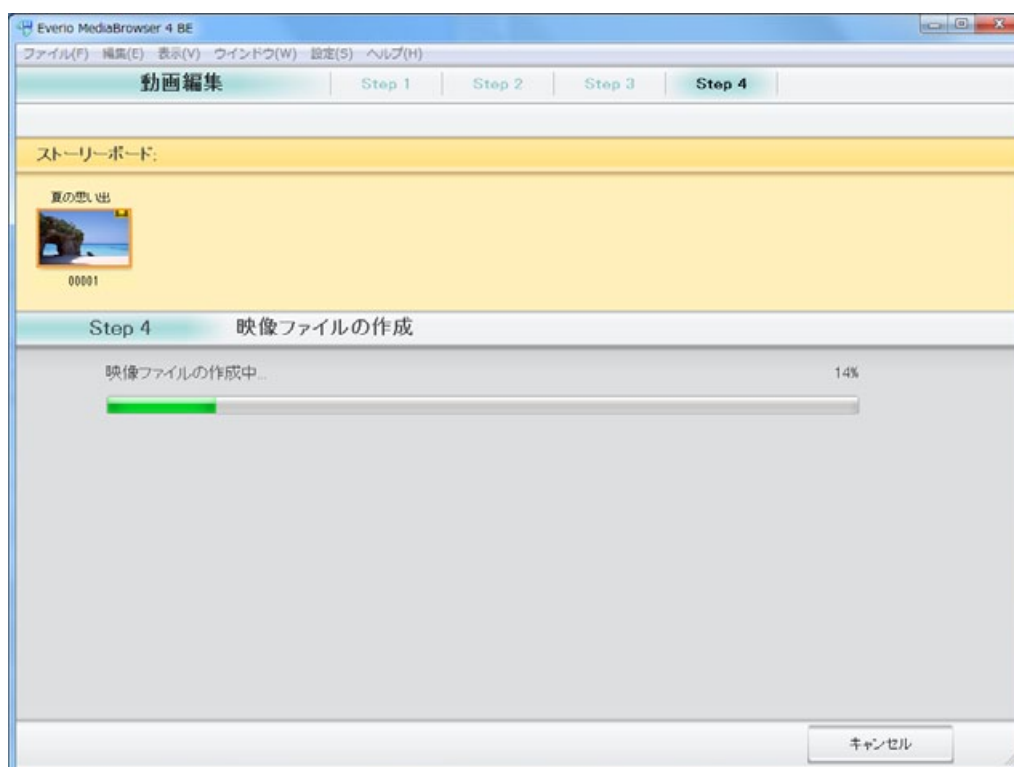
13 「出力の形式」を [映像ファイル (MBT)] にします。



14 [開始]をクリックします。

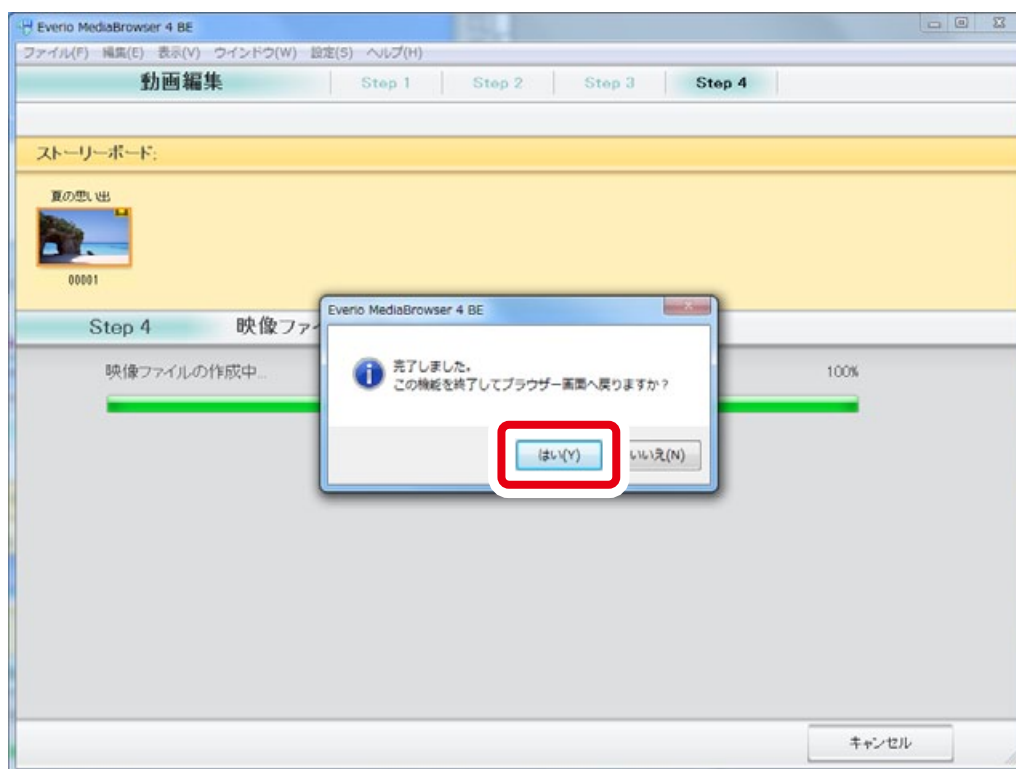


15 ファイルの書き出しが開始されます。



* 進捗バーが 100% になるまでしばらくお待ちください。

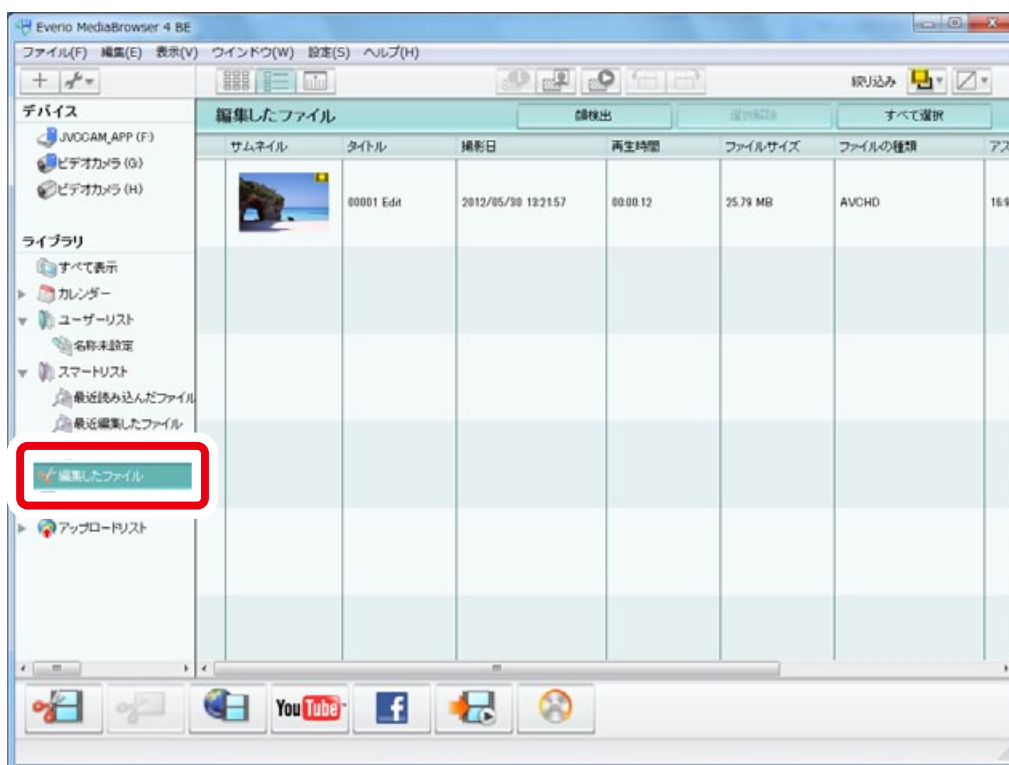
16 メッセージを確認してから [はい] をクリックします。




➡ ファイルの書き出しが完了しました。

次のページ ➡

17 書き出したファイルは [編集したファイル] に表示されます。



* ライブラリをリスト表示  に切り換えると、一覧で確認できます。

以上で本書の操作は完了です。

1 ファイルに2ヶ所以上の文字を入れたいとき

一度の操作で入れられる文字は1ファイルにつき1箇所のみです。複数の箇所に文字を入れる場合は、本書の手順をくり返す必要があります。手順3でファイルをドラッグ&ドロップするときには書き出したファイルを選んでください。